MICRO ACEの新製品
鉄道模型マイクロエース

平成　　年　　月
株式会社　有井製作所

A0121
国鉄151系　特急「こだま」　基本8両セット

主な走行都市

製品の仕様・価格・発売時期は予告なく変更する事がありますので、予めご了承願います。

品番	A0121
JANコード	102503
商品名	国鉄151系　特急「こだま」基本8両セット
商品系形態	塗装済完成品
素材	ABS樹脂
予価	18,400円
発売予定	
規格	N
対象年齢	8歳以上
カートン内入数	12
実車	1956年東海道本線の全線電化開業に伴い電車による特急列車が計画され、1958年11月1日特急「こだま」が誕生しました。特急「こだま」は東京-大阪間を日帰り可能なビジネス特急として、20系(後に151系へ改称)24両を新製して、東京-大阪間を6時間50分で結びました。特急「こだま」の人気は高く1959年には12両編成となり、1960年に客車特急「つばめ」・「はと」の電車化により従来の展望車に代わる「パーラーカー」クロ151が登場し、東海道のクイーンの座を確立しました。東海道新幹線開業後は、直流電化区間の特急として幅広い活躍を続けていました。特急「こだま」の栄光は、この形式の成功なくしては語れないわが国の鉄道史に輝く車両のひとつで、独特のボンネットスタイルはその後登場した数多くの車両のデザインに大きな影響を与えました。
商品	製品化要望の高かった国鉄特急型電車の始祖であるモハ20系（後の151系）を製品化 大阪方に優等車が5両も連結している全盛期の編成を再現 クロ151とクハ151では全長の違いを忠実に再現 特徴的なバックミラーは別パーツで再現（ユーザー取り付けパーツになります） 展望車（クロ151）の特徴的な座席の模様はシールで再現 先頭車上部のライトはカバー付きの姿でモハ20系とは作り分け 前面愛称板は交換式のタイプでモハ20系とは作り分け サロの妻板は簡易運転台の有無を作り分け（木箱セットは改造後の運転台取り付け車を再現） サシの側面手すりの有無を作り分け（木箱セットは手すり付きの後期車） モハシの側面窓配置を作り分け（木箱セットは後期車） モハ妻板はダクト付きの後期車 行先サボ・号車札印刷済 ヘッドライト・テールライト点灯(ON←→OFFスイッチ付き)・黒染車輪採用
付属品	座席模様ステッカー・前面ヘッドマークステッカー・バックミラー
パッケージ	8両用ブックケース
オプション対応	トミックス　室内灯#0751/0781/0785　　トミックス　TNカプラー#0334(先頭部には対応しません)
関連商品	A0122　国鉄151系　特急「こだま」増結4両セット

編成

1号車	クロ151-1	ヘッドライト・テールライト	6号車	サシ151-1	
2号車	モロ151-1	パンタグラフ	10号車	モハ150-1	
3号車	モロ150-1		11号車	モハ151-11	パンタグラフ・モーター車
4号車	サロ150-1		12号車	クハ151-1	ヘッドライト・テールライト